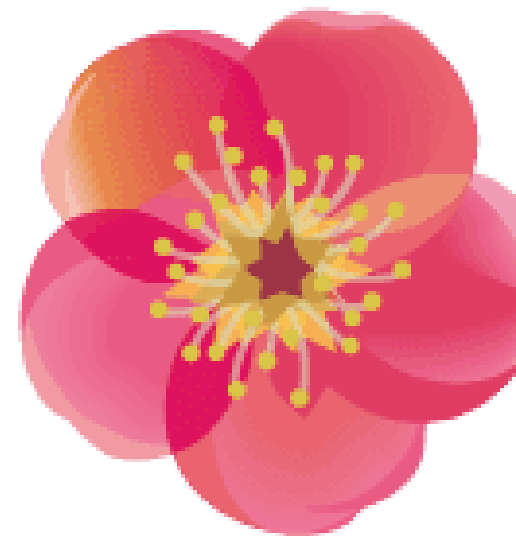
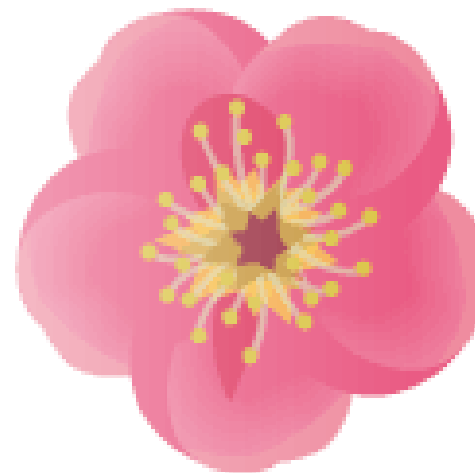
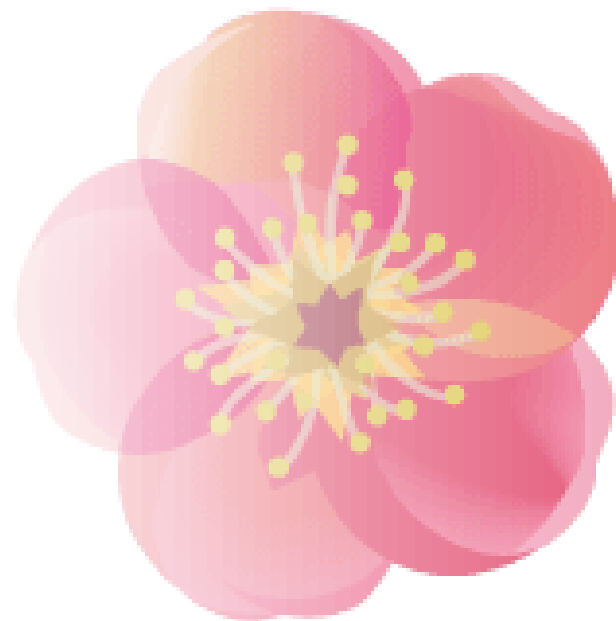




自分流枕草子

7組2番 M.U





春は藤。
仄かに甘えたる香り漂ひ、
うら紫の炎の下風ゆすりて
いとをかし。



夏は睡蓮。

朝まだきに花笑みし、
きしねに映ろふ花の鏡
いとつきづきし。

夕陽にちりしをるもをかし。



秋は彼岸花。

夜になりて、丹に染まる焰と

月人男にほひていとをかし。

まいて野風扇ぎ血を落すやう、

むくむくしくもいとをかし。

冬は椿。

あさと放ちて入る風寒かれは
いふべきにもあらず、

また阿吽のいと白きも、
くれはしのいと寒きも

いとつきづきし。

日も暮れ果つれ、花びらに
落つる下露いとをかし。

